

2023年8月10日

野の花だより

第 1号

南牧野林地城

諸葛川環境保全を考える会

1 第1回諸葛川観察会が、令和5年7月28日（午前9：30～11：30）因分橋～北校正門前間の諸葛川左岸沿いにおいて、野の花の観察を目的に行なわれました。

釜澤宅西側の「ネジバナ」の観察に向かっていた釜澤宅東側敷地に「ピロードモーズイカ」が立ち上がり迎えてくれましたし、生垣には「ヒルガオ」が顔を出していました。

敷地内の「ヒメムカシヨモギ」や付近の「アキノノゲシ」を横目に山下氏の草刈り区域内の「ネジバナ」群生地に行き「ネジバナ」の生育状況を鑑賞しました。（※山下氏が「ネジバナ」を発見し、群生を見守っています。）

付近には「ヒメジョオン」が咲き乱れていましたし、左岸沿いには「シロツメクサ」「エゾノギシギシ」「マツヨイグサ」「オッタチカタバミ」「ツユクサ」「ヘラオオバコ」「アカツメクサ」が咲いていました。

咲いていたはずの「ヤブカンゾウ」は咲き終わっていましたが、「オオハンゴンソウ」が咲きはじめていました。

観察会かの帰りに、東橋氏が、「ピロードモーズイカ」の下方に小さく可憐に咲いている「ヒメフウロ」を見つけました。

2 「キキョウ」「ムクゲ」「ムラサキシキブ」「タチアオイ」「サルスベリ（百日紅）」などの花が真っ盛りのなか「スベリヒユ」の黄色い小さな花が見られました。（日光が当たる午前中に咲きます）

「ススキ（オバナ）」や「ハツユキソウ」が見られてきて、そろそろ秋が感じられそうになってきました。

2023年9月1日

野の花だより

第 2号

南牧野林地域

諸葛川環境保全を考える会

猛暑続きで大変な毎日を過ごしていますが、皆様、お変わりありませんか。

この暑さの中、草花は、太陽光線の秋の気配を感じとり秋にむかい元気いっぱい育っています。

つい先日ころに見られていた「エノコログサ」が、いつの間にか「アキノエノコログサ」にとってかわられ、「オヒシバ」が道端をおおい、庭の「シュウメイギク」が蕾をもち、一輪、二輪と咲き始めました。

このように秋が感じられはじめたこのごろ、猛暑にめげず、井上宅（7班）の5本の「サルスベリ」（花の色、5種類）が下の写真のように今が盛りと見事に満開となっています。

興味のある方には一見の価値があると思われるのでご紹介まで。

